

Q 1 5 道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れる工夫は、どのようなものでしょうか。



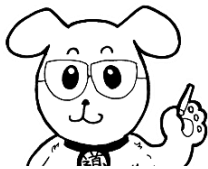
道徳的諸価値を理解したり、自分との関わりで多面的、多角的に考えたりするために、役割演技や動作化などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う学習のことです。

役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面について実感を伴って理解する。



問題場面を実際に体験して、自分ならどう行動をとるかという問題解決のための役割演技を取り入れる。

問題や課題を主体的に解決するため、道徳的価値を実現するための資質・能力



体験的行為や活動を目的として行うのではなく、適切に取り入れ、道徳的価値の意義などについて考えを深めるようにすることが重要です。

○役割演技をして、心情や思いを引き出すための疑似体験的な活動

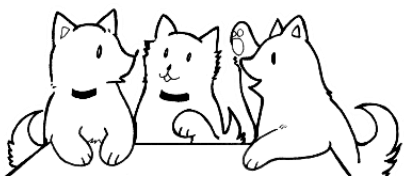
2年生の教材「およげないりすさん」（公正、公平、社会正義）

3人は、泳げないりすさんを1人残して、島へ渡り遊ぶが少しも楽しくなく、1人ぼっちになっているりすさんのことを考え始め、友情・信頼について考えることができる教材。

教師のねがい

泳げないからといって残してしまった友達のことについて考える場面を即興的に演じさせて、相手のことを考える体験をさせたい。

泳げないから、一緒に遊べないよ。
仕方ないよね。

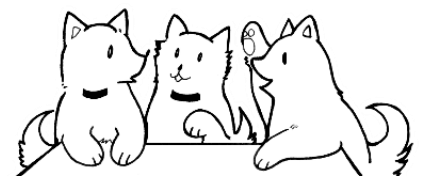


T：りすさんのことが気になったみんなはどんな相談をしたのでしょうか。

りすさんのことを考えて友達に対する思いを引き出す体験的な学習

体験的な学習

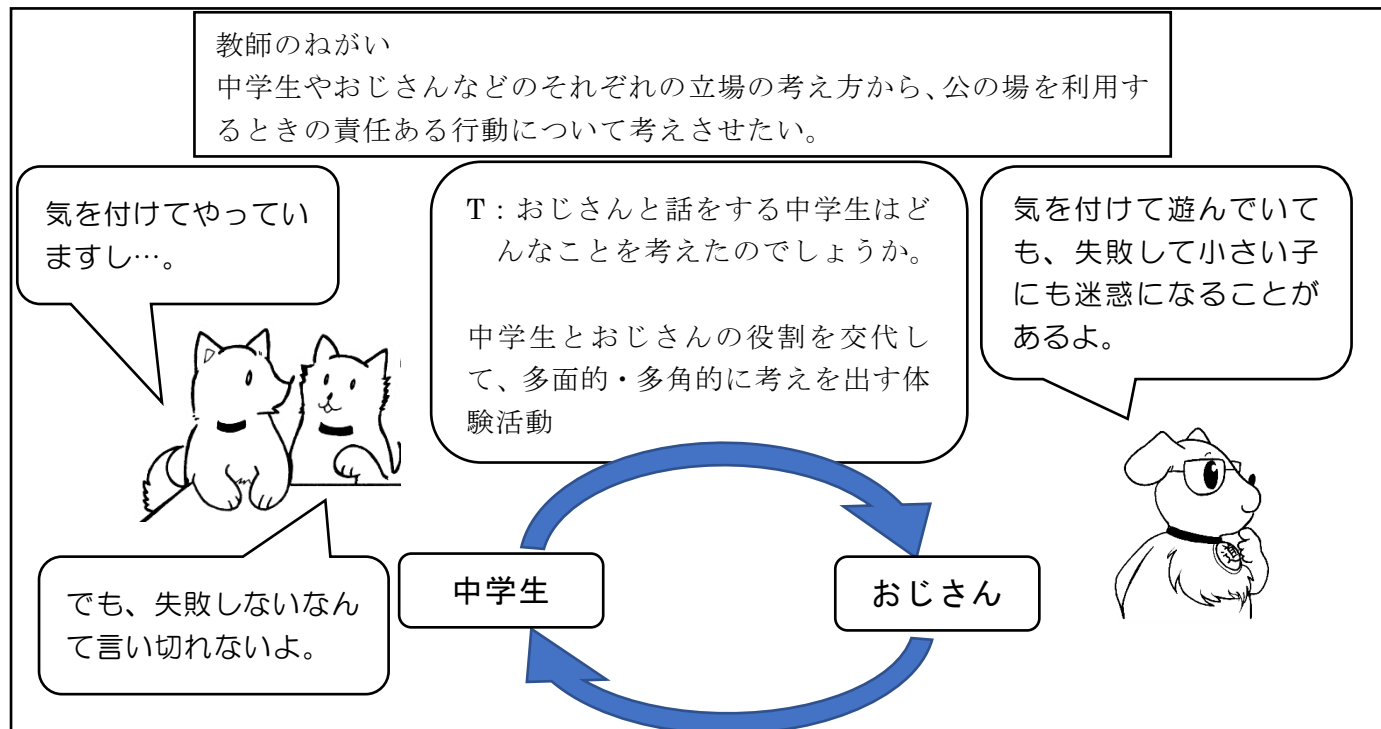
一人で寂しくないかな。
やっぱりみんながいないと楽しめないね。



○役割を交代して、自分との関わりで多面的・多角的に考える体験的な活動

5年生の教材「いこいの広場」（善悪の判断、自律、自由と責任）

誰にも迷惑をかけないので、自分たちの行動は正しいと思っている中学生に、それは間違っているとたしなめるおじさん。中学生とおじさんのやり取りを通して、責任ある行動について考えることのできる教材。



特別活動等の多様な実践活動等を生かす工夫

実践活動や体験活動を生かす方法は多様に考えられます。各学校で児童の発達の段階等を考慮して年間指導計画に位置付け、実施できるようにすることが大切です。



例えば…

<p>体験活動の中で感じたことや考えたことを話し合いに生かす。 ◎総合的な学習の時間の福祉教育</p>	<p>特別活動の体験をもとに道徳科において考えを深める。</p>
<p>相互理解、寛容 お年寄りの人と話すときにも、相手のことを考えて…</p>	<p>親切、思いやり この前の1年生の交流では、どんなことを考えましたか。</p>
<p>勤労、公共の精神 福祉施設で働く人のやりがいって…</p>	<p>よりよい学校生活、集団生活の充実 委員会活動では、どんなことに責任を感じますか。</p>